

第16回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

◇卒塾生の感想文より

NO. 1

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー養成塾を終えて僕が思ったことは、「参加して本当によかった」、「卒塾なんかせずに、まだまだ続けたかった」です。最初は長く思えた2週間が、本当にあっという間に過ぎていきました。日本各地、アジア各地の仲間がたくさんでき、普段では絶対できないような貴重や経験も沢山できました。本当に最高の2週間でした。辛いこともありました。例えば、アジア・ハイスクール・サミットのディスカッションが全く進まず、雰囲気が悪くなったり、意見が衝突したことです。しかし、そんな時は、もう一度相手の意見をよく聴き、相手の気持ちも理解できるように、何度何度も納得がいくまで話し合っ乗り越えました。

僕は期間中に一度、体調を崩しました。そんな時に支えてくださったのは学生リーダーや担任の先生、事務局の方々でした。看病や声をかけてくださったり、病院まで付き添ってくださいました。

僕はこのリーダー養成塾を通して大きく成長できたと思います。でも、その成長があるのも、このリーダー養成塾に関わってくれた全ての人たちの支えがあったからこそです。本当に感謝しています。また機会があったら会いたいです。

2 印象に残った講義とその理由

僕が特に印象に残っているのは、鎌田實さんの講義です。鎌田さんの講義では、他者の多様性を理解すること、他者のために生きるべきだ、ということ学びました。諏訪病院の院長就任、チェルノブイリ原発事故、紛争地での活動など、多くの実体験をもとにお話しされました。実際に他者のために尽力し、多くの命を救ってきた鎌田さんだからこそ説得力があり、学ばされました。また、自身がプロデュースされた、音楽を流しながら講義をされ、そこも印象に残っている理由です。

3 今後のわたし

世界で活躍できる人材になりたいと考えています。このリーダー養成塾で、様々な分野で世界で活躍される方々の講義を聴いき、自分もそうなりたいと思ったからです。リーダー養成塾に参加する前は、全然思っていませんでした。具体的には、国際協力機構（JICA）で、発展途上国の法整備支援に携わりたいと考えています。僕は法に興味があり、大学でも法を学ぶつもりです。また、アジア・ハイスクール・サミットで世界の諸問題について話し合い、発展途上国の教育格差や貧困は、法律が十分に整備されていないことも原因ではないかと思ったからです。リーダー養成塾で学んだことを生かしていきたいと思っています。

1 リーダー養成塾を受講して

私は、リーダー養成塾で、自分に自信がついたと思います。それは、2週間共に過ごした仲間の支え、学生リーダー、担任の先生のおかげです。

2週間、クラスの仲間とアジア・ハイスクール・サミットに向け熱い議論を交わし、超一流の講師の方々から今まで触れることのなかった様々な分野の講演を聞き、時には楽しく、時には真剣に、周りの仲間の良い刺激をもらいながら過ごすことで、新しい世界が自分のなかで広がったと実感しています。

日本中、アジアの国々から集まった仲間達は一人ひとり、全く異なる考えをもち、価値観も違います。そのなかで、議論をまとめることは非常に難しく、また、意見を出す人も固定されてしまう状況になります。レベルの高い議論についていくことが精一杯でした。そのときは、一度立ち止まり、全員が共通した考えがもてるようにすることや、議論の内容をずらさないようにする考え方を学びました。自分が考えることのできなかつた深い話や、全く逆からの視点の意見を聞くことで、より視野が広がり、他者理解の重要性にも気付かされました。

この次世代リーダー養成塾で出会う仲間は信頼できる素晴らしい人達だと思っていたいます。私のために涙を流してくれた仲間、悩みを相談し、アドバイスをくれた仲間、2週間のなかでこんなにも良い仲間と出会えるとは思っていませんでした。この先、それぞれの道に進んでいく仲間を私は応援し続けたいです。

人生のなかでのこの期間は大きな原点となり、自分を大きく前進させてくれました。この先、挫折を味わうこともあるだろうし、多くの困難に立ち向かうと思います。そのようなときも、自分をリードし、自分自身を磨くということを大事にしていきたいと思います。

2 印象に残った講義とその理由

若田光一さん 「宇宙飛行とリーダーシップ」

私は、リーダー養成塾に参加する前、若田光一さんと共に宇宙へ行ったことのあるダニエル・ミチオ・タニさんの記事を拝見しました。それには「日本人は謙虚。自分のやり方を押し切るのではなく、自分以上に周りの方が賢いと思い、様々なメンバーからの意見を得ようとする部分は、リーダーの資質としてとても大切。」と記載してありました。それを読み、今後世界で活躍したい私は、日本人は世界に比べて、リーダーとしての資質は劣っていると感じていたため、若田光一さんのリーダーシップ、コミュニケーション、チームマネジメントについて話を伺いたいと思っていました。

若田光一さんは宇宙飛行士に求められる集団行動能力として、自己管理、リーダーシップ、フォロアーシップ、チームワーク、チームへの配慮、コミュニケーションが必要だとおっしゃっていました。

これは宇宙だけでなく、学校生活や仕事でも必要だと思います。リーダーはチーム全体の能力を発揮するために、自分の管理は勿論、状況が変わるなかでもリードしていかなければなりません。ですが、リーダーにはフォロアーも大事で、フォロアーがいなければ成り立ちません。

この先、グローバル時代となり、今よりも多くの人々が海外の人と関わる人が増えていきます。リーダーとしてチームとのコミュニケーションを多くとり、高みを目指していけるようなチームを作っていきたいと思えました。

3 今後のわたし

私はこのリーダー養成塾で、多くの講師の先生方からリーダーの在り方の話を聞き、理想のリーダー像を再確認することができました。

私の現在の理想のリーダー像は、自らが1番に行動をし、努力をすることで、周りに影響を与える存在です。また、チームとのコミュニケーションを大事にし、配慮を忘れないようにしながら、リーダーとしてチームの能力を最大限発揮するために、自分が今何をやるべきなのか常に考えていこうと思っています。

リーダー養成塾で、志の高いチームの仲間と熱い議論を交わし、自分から積極的に動くということを実践してきました。

現在、体育大会の応援団長として常にチームの仲間のことを考えて、優勝という目標を掲げ、進んでいます。リーダー養成塾で学んだことを活かし、話し合いを行う時はルールを定め、良い話し合いをすることができています。もう既に、力を発揮するステージはあり、これから増えてくると思います。この先の人生で、リーダーとして輝けるように、今回、学んだことを決して忘れずに頑張っていきたいです。

1 リーダー養成塾を受講して

本当に多くの仲間と講師の方々に出会い、成長を実感できた2週間でした。学んだこと、驚いたことなど、ここでは書ききれない学びの数々を活動ごとに振り返りたいと思います。まずは、やはり第一線で活躍されているの方々のご講演です。2週間で20名以上というこれ程多くの貴重なお話を聞くことができる機会は、ここでしか得ることができなかったと思います。もちろんすべての講義の内容が、そのまま自分の生活や将来につながるわけではありません。しかし、将来何をを目指すとしても、その専門分野だけでは社会の中で生きていくことはできないことを痛感しました。同時に、自分の知見を広げ、新しいことに興味を持たせたこの2週間がいかに価値あるものだったかと考えさせられました。素晴らしいご講演をしてくださった講師の方々に心から感謝をしています。

次に、アジアハイスクールサミットやみそ汁コンテスト、ディスカッションなどの塾生同士での交流です。ここで感じことは言うまでもなく、多様性の面白さと難しさだと思います。日本全国、そしてアジア各国からの塾生は、それぞれ高い志を持ち集まってきた仲間です。一人一人の考え方、思い、文化が混ざり合うあの空間は何か特別なものを感じました。話し合い、乗り越えていく中で、私たちだけの答えを見つけ出そうと、ともに歩んだ道のりは険しくても、明るいものでした。出会った仲間々に心から感謝をしています。

たくさんの方に「ありがとうございました」と伝えたい、本当に素晴らしい経験ができました。

2 印象に残った講義とその理由

マハティール首相の講義です。まず、この方が来てくださった方々の中で最も著名で権威ある方だからという理由で選んだわけではありません。講演の内容が私の心を強く打ち、考えさせられる内容であったからです。「How to use」、マハティール首相が何度も私たちに語り掛けた言葉。日々進歩する技術が及ぼす影響は、私たちがそのものをどう使うかにかかっている。だから、科学技術自体が悪いわけでは決してない。私たちが文明を持った者であるのなら、正しい選択をしなければならない。彼は短い言葉でそう訴えかけました。本当に心揺さぶる講義でした。

3 今後のわたし

私はこれからも勉強では学べない、もっと大切なことを得られる経験をできるだけ多く積んでいきたいと思っています。今も模擬国連や英語ディベートなどの活動をしていますが、リーダー塾を通してさらに挑戦してみたいことが増えました。この活動に参加できたことを本当にうれしく思います。

最後に、新しい一歩を踏み出すきっかけとなった日本も次世代リーダー養成塾とお力添えをいただいたすべての方々に心から感謝をしています。ありがとうございました。

◇卒塾生の感想文より

NO. 4

1 リーダー養成塾を受講して

本当に、素晴らしい体験でした。私がこのリーダー塾で学んだことの中で、特に大切にしていきたいと思ったことを2つ挙げたいと思います。1つ目は、情熱を持つことです。たくさんの講義を受けて、このような場で講義をされる講師の方々は、皆情熱をもって自分の人生に向き合っていると感じました。2つ目は、チームの誰一人として欠けてはいけなくて、それは私も例外じゃないということ実感できたことです。私のクラス担任の先生は、アジア・ハイスクール・サミットを始める前、「強みに目を向けよう」ということを教えてくださいました。私は今まで、他人と比較してしまうことが多かったのですが、これを聞いて自然と自分なりに考えて、「最高の仲間」じゃなくてもいい、「最強の仲間」になればいいんだと思いました。

2 印象に残った講義とその理由

鎌田實さんの講義です。今まで挑戦することや決断することを怖がっていましたが、失敗はするもの、それをどう面白く乗り越えるかが大切なんだと聞き、自分は「自分」にとらわれていたんだなと気が付いて、もっと自分がより自由に生きるために努力をしようと思うことができたからです。

3 今後のわたし

リーダー塾前は、決めることができず悩んでいた海外大学への進学ですが、リーダー塾を通して、自分の想いがはっきりとしました。私は、海外大学へ進学します。

1 リーダー養成塾を受講して

まず思うことが、リー塾に参加できて本当に良かったということです。ここに来たことで、今までの自分がどれだけ狭い世界に住んでいたのかがわかりました。たくさんの方々の講義からリーダーとは何かを学び、人としての生き方を学び、自分の人生を豊かにする方法を学びました。AHSでは、クラスのみなどとの議論を通して、仲間の発想力、発言力、リーダーシップ能力に驚きました。クラスの中でいかに自分がちっぽけな存在なのかを知りました。しかし、こんな自分の意見だとしても欲してくれている仲間がいて、自分はクラスにいなくてもいいのではないかと思ったこともあったけど、自分に自信を持ち、自分らしい考え方、話し方で参加することができました。クラスのみなどで獲ったAHS優秀賞は一生の宝物です。

そして、僕には素晴らしい友達が何人も出来ました。色々な都道府県から集まった仲間の方便に最初は違和感を持ったけど、2週間も一緒に過ごすと感じなくなり、みんなのことが大好きになりました。特に同じクラスの子とは一緒に過ごすことが多く、学ぶことがたくさんありました。2週間しか一緒にいなかったことに驚き、昔から一緒にいたのではないかくらいに思っています。早くみんなで集まりたいです。

また、自分中心ではなくもっと広い視野で世界を見て、その上で自分の夢を考えることができるようになりました。そして、リー塾の講師の先生方は口を揃えて“多様性”という言葉をおっしゃっていました。自分は自分らしく、他の人は他の人らしく生きていくから、僕は色々な人の生き方を尊重しながら自分らしく生きていきたいです。

最高の講義、最高の仲間、最高の2週間をありがとうございました。

2 印象に残った講義とその理由

佐賀県知事 山口祥義さん

山口さんは、佐賀のためにたくさんプロジェクトを考え、それを実行しています。どんなことも全部佐賀のためで、地元への愛が伝わってきました。そこで僕が思ったことが、自分は自分の地元で貢献できているのかということです。地元のために仕事をしている山口さんと比べて僕は「早く東京行きたい」「田舎すぎてヤバイ」と、地元を否定する発言を今までしてきました。「日本・世界で活躍する！」とかいう前にまず地元です。どれだけ世界で活躍し有名になったとしても、地元を愛することをやめてはいけないということを山口さんの姿から学びました。

自分の住んでいる県はみんなに知られていないことが多く、しまいには名古屋の植民地と言われるほどでした。そんな現実を強く変えたいと思った、そんな講義でした。

3 今後のわたし

まず、このリー塾で知り合った仲間の存在を忘れないで生きていきたいです。自分がこうして感想用紙に記入している今も、仲間は自分の夢に向かって努力し続けています。ここで出会った仲間は一生の宝物です。この存在が自分を成長させてくれると思うし、仲間と同じ舞台上で仕事がしたいので、仲間の存在は絶対に忘れないで生きていきます。そして、たくさんの講義や仲間の姿から学んだ、リーダーとしてあるべき姿を自分のものにし、発揮していきたいです。

また、今後のことで具体的には、世界に出たいと思うようになりました。地域、県、日本をよくするためには、世界を知ることが重要だとわかり、また、自分がどれだけ小さな地域で生活をしていたのかがわかりました。世界を知り、日本に貢献し発展させ、世界に貢献したいです。そのために、留学したいと強く思うようになりました。

最後に様々な講師陣の様々な考え方に触れたことで、様々な視点で物事を考えることができるようになったと思います。ある一つの物事に対して、様々な視点から見て、最善の手を打っていけるように今後は心がけていきたいです。また、この経験を学校に還元していき、学校を発展させていきたいです。

1 リーダー養成塾を受講して

この2週間を通じ、大変多くのことを学ぶことができました。

例えば時間管理です。先を見通して行動する、自立した生活を送れるよう意識するという事です。常にタイムスケジュールを確認するようにして次は何をするのか、何が必要なのかを考えます。特に持ち物に関しては一旦トツを出すのと取りに戻れないこともあるので注意するようにしました。

また「量子コンピューターを研究している」「国際看護師を目指している」など、他のみんなのレベルの高さを痛感し、自分もスキルを上げようと刺激を受けました。講義後の質疑応答では多くの学生が手を挙げ、さらにその質問内容もレベルの高いものでした。

AHSなどのディスカッションにおいてもそれぞれに意見を持ち、積極的に議論に参加していました。驚いたのはテンポの速さです。1つの意見が出るとすぐに別の意見が出され、どんどん展開されていきました。さらに彼らは視野を広く取ることもできるため、話の方向転換もすぐに行うことができました。

私自身は自分の考えをまとめるのに必死で、あまり発言できませんでした。しかしこういう機会を通じて、今は何について話しているのか、最終目標は何であるか、きちんとその方向に向かっているかといったことを考えることが大事だと気づきました。

このように尊敬できる仲間たちでしたが、その中でも同じクラスだったアジア人学生のアリ君は、たった1年で日本語をマスターし、日常生活のみならず政治用語や冗談までも日本語で使いこなしていました。さらにアリ君も含め、第2、第3言語も習得している人の多さにも刺激を受けました。

私が英語を話すとき、単語や文法に気をとられがちでした。しかしそういった「文法知識」にプラスアルファが必要なのではないかとということも気づきました。日本語以外でコミュニケーションを取ることの難しさや、だからこそ学びたい、という気持ちもこの2週間で生まれました。

2 印象に残った講義とその理由

印象に残った講義は三つあります。

一つ目は山口祥義知事です。私は地域政策や地域再生に興味があり、この講義では佐賀の今まで知らなかった魅力を知ることができたと同時に、佐賀の資源をどのように活用していくのか、どのような政策を立てるのかといったことも学ぶことができました。私は昨年開催された「多治見ビジネスプランコンテスト」に出場したことをきっかけにこういったことに興味を持ったのですが、佐賀県では佐賀らしさの表現のためデザイナーやクリエイターとネットワークを構築したり、大陸との交流の一環としてアジアのレストランベスト50へ積極的に参加したりするなど、外と関わることで活性化を目指しています。そこで活性化のチャンスを見つける方法や、事業を行うにあたって心掛けていることを質問したかったのですが、残念ながら出来ませんでした。

二つ目は明石康先生です。一時間半程立ったまま講義をするのは体力的にも大変だと思うのですがどんなに年を重ねても健康で、お仕事を続けられるというのはとても素晴らしいことだと思いました。大変厳しい目で今の日本教育、とりわけ英語学習について憂いていらっしゃいました。また興味深かったのが、ドイツとフランスでは歴史を同じ教科書で学ぶが、日本と中国は全く違うというお話です。これについて私達1組はディスカッションを行い、解釈の齟齬をなくすにはどの様にしたらよいかを考えました。そしてその方法として世界に基準となる大きな世界史の教科書を作り、それぞれの国家はその国に関連するところを選び教育します。教科書には事実と関連する国のそれぞれの解釈を記載します。人材は出来事に関連した国を除いた複数の国から集めます。実現するには難しいですが、少しでも早く歴史的な解釈の違いによる国際問題を解決する必要があると感じました。

また講義の次の日の朝、グローバルアリーナにみえて気さくに写真撮影に応じてくださいました。明石先生のような方とみんなと一緒に撮影できたことは本当に光栄でした。

三つ目は若田光一宇宙飛行士です。多様で困難なミッションをやり遂げるためには、チームの仲間と上手く付き合い、適応していく必要がある。その為にはTeam skillsが大切だ。習得困難な能力にはコンフリクト発生時のマネージメント、異文化対応、コミュニケーション、そして特に難しいのが自己管理だと挙げられました。このことはなにも遠い宇宙空間だけの話ではなく、私たちの日常生活でも大切にすべきことです。これから多くの人たちと関わっていく上で、忘れてはならないことだと教えられました。

3 今後のわたし

目標宣言では「私は自分の夢を叶えられるような能力をつけたいです。そのためにまず学力の向上を目指します。特に語学を勉強します。」と宣言しました。

宣言したことを実現するために、語学の勉強の一つとして、まずは学校で行われる GTEC で良いスコアが出せるよう勉強しています。また英語スピーチコンテストに出場することにしました。英語でのスピーチコンテストは中学校の時から毎年出場しており、思い入れが強い大会です。集大成として良い発表ができるよう日々練習しています。

さらに大学では、講義で度々出ていた「グローカル」（「グローバル」＋「ローカル」）について学びたいと思っています。

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾で学んだことは「伝える」ということです。「伝える」ために大切なことは大きく二つあります。

一つ目は、言葉を使えることです。明石先生の英語での講義は素晴らしい内容でしたが、友達に内容を教えてもらうまでは全く伝わってきませんでした。なぜなら自分が英語を聞き取り、理解できなかつたからです。明石先生の講義やクラスのアジア学生とのコミュニケーションを取る際にも“道具として使える”言語能力の必要性を強く感じました。

二つ目は、相手に理解してもらえように変化させることです。内容を詳しく知らない人に対して専門用語をたくさん使って話せば当然相手は理解できません。相手と「議論」をするディスカッションでは自分の意見をいかに相手に理解してもらうか。という事の大切さを学ぶことができました。

また2週間共同生活をするなかで、相手が気持ちよく生活するために自分が我慢すべきこと。自分の思いを伝えるべきところ。の区別をつけることの大切さを実体験を通して感じました。

2 印象に残った講義とその理由

26名の講師の方皆様が素晴らしい抗議をしていただき、多くのことを学ぶことができましたが、特に笠谷和比古先生と若田光一先生の話が印象に残っています。

笠谷先生の話からは、幕末の諸外国との条約が本当に「不平等」だったのかについてお話をしていただき、歴史には様々な見方があることや、教科書が必ずしも真実とが限らないことを教えていただきました。

若田先生のお話では、閉ざされた宇宙空間で生活をされてこられたからこそ、対人関係の大切さについて教えていただきました。ネガティブなアドバイスをいかにつたえるか。築いたことがあればすぐに議論する。という事の大切さを学ばせていただきました。

3 今後のわたし

2週間の間、最高の仲間と最高の時間を過ごすことができました。この学びと経験を次につなげていく必要があります。

まずは、講義の内容を再度思い出し、講師の方の著書を読みさらに知識を増やしていきたいです。また、今回痛感した自分の英語力のなさを見つめて、コミュニケーションツールとして使える英語力を磨いていきたいです。

ディスカッションや24時間の共同生活などにおいて学校ではできないことを数多く経験させていただきました。だからこそ普段の学校生活にフィードバックして、学んだことを生かしていきたいです。

1 リーダー養成塾を受講して

綿密な二週間を経て、私は変わりました。

一つ目は夢を考え直すことになりました。もちろん、私が持っていた夢はそう簡単に変えられないものでした。ですが、多くの知識を得て、多くの夢を聞くと私の夢は陳腐なものだと気づくことができました。私の夢は目的を大切にしていなく、目標つまり職業に就くことを目指しているだけだと気づきました。私は自分を、周囲の人々を、世界をどうしたいのかゼロから考え直したいです。

二つ目は自分の力は小さいと考え方を持つことになりました。今までは自分の力は強いと自意識過剰に考えていました。しかし、クラス活動を通して自分の知識の少なさや考え方の偏りなど自分の力についても気づかされました。そして何より仲間と協力することの強さを知りました。なので、今まで目を向けてこなかった強いチームをつくるための方法を学びたいです。

2 印象に残った講義とその理由

鎌田 實さんの命に関する講義が一番印象に残りました。

私はまず、鎌田さんのプロフィールを見て驚きました。被災地にはどこにでも行き、紛争地まで多くの命を救って、今も夢をもって日々努力なされていました。私は鎌田さんのような人間性を持った人になりたいと思いました。講義でもやはり大きく心を動かされました。言葉に重みがあるというのを初めて実感しました。講義の中で心に残った言葉があります。

「人はいつか死ぬ」という言葉です。私は死がとても怖く、発展途上国で働きたいという目標に決心がつけられていませんでした。しかし、この言葉によって自分は決心をつけ、死という障害を乗り越えることが出来ました。

3 今後のわたし

私はまず多くの経験を出来るようにします。今まで興味のない分野はやってきませんでした。チャンスがあったら全て挑戦したいです。多くのことを経験してこそ自分の力についていくと思います。講義をなされた方々もとても多くの経験をなされていました。その多くの経験から自分の本当に叶えたいそして揺るがない夢を創りたいと思います。

もう一つは人間として自分の力をつけたいです。知識から身体能力に至るまで、自分の力を底上げしたいと思います。私は大きな夢を持ちたいです。まだ、明確にはありませんが夢が定まった時には、もう遅かった。そんなことがないように自分のコンディションを万全にしておきたいです。

最後に、私は仲間の大切さを知りました。私一人の方が都合も良い、そう自分は今まで考えていましたがそれは全く違いました。チームの方がより意見深まるし、効率的でした。だから今まで目を向けていなかった人との関わりを大切にしたいと思います。

◇卒塾生の感想文より

NO. 9

1 リーダー養成塾を受講して

私はこの日本の次世代リーダー養成塾で、リーダーとして、人として成長できました。今学校で生活していて、自分は変わったという自覚があります。学校の先生にも、最近の岩佐は目がキラキラしていると言われるほどです。講義の中にリーダーは何事にも明るく、という言葉があったのを覚えています。辛いことがあっても、リーダーとしてクラスや学校の先頭に立つのだから、いつでも前向きに頑張りたいと思います。また、全国やアジアにたくさんの素敵な友達ができただけでなく、とても嬉しかったです。一生に一度のいい機会でした。他県やアジア諸国のことを知ることもできました。この出会いは、一生の宝物になりました。私は16期の日本の次世代リーダー養成塾に参加できて、心から嬉しいです。

2 印象に残った講義とその理由

私が印象に残った講義は、元国連理事長の明石康さんの講義です。明石さんは日本人でありながら、講義を英語でされたため、英語の勉強についてすごく考えさせられたからです。私は明石さんの講義の内容を、全く理解できませんでした。1時間ほどただ座っているだけの自分にとっても腹が立ちました。学校の英語のテストで90点を取っても、英語は聞き取れないし喋れないとわかったので、私は学校の授業だけでなく、個人で単語をたくさん覚えたり、英語の本を読んだりなどと、いろいろな努力をして、英語を1つのコミュニケーションツールにしたいと思いました。

3 今後のわたし

私はこれから学校のリーダーとして、リーダー塾で学んだリーダーシップを発揮して頑張ります。ディスカッションの能力を身に付けることができたので、クラスの話し合いでどんどん生かしたいです。私は1人では何もできない自信があります。だから、仲間を大切に、仲間と協力しあって生活していきます。また、将来の夢の実現のために、たくさんの経験と勉強をしたいと思います。

1 リーダー養成塾を受講して

まず、多くの意識の高い仲間と出会えたことが1番良かったなと思っています。普段の生活では話すことの出来ない将来の夢の話や、留学についての話を沢山することが出来ました。私はリー塾に参加する前、留学に抵抗を感じていましたが、リー塾に参加して多くの仲間が留学していてそこから多くを学んでいたり、人脈を広げていたりしていたのを聞いて、今では留学したい、と強く思うようになりました。

また、日本の至る所、アジアの留学生の人達と友達、仲間になることが出来たのも自分にとって大きなことだと思っています。今までは同じ学校内にしかなかった人脈や狭い世界が日本全国、アジアに広がり、様々なことを知ることができるようになりました。

さらに、同世代の仲間知識量の豊富さ、英語力の高さ、リーダーとしての力など自分とは比べられない程の差を痛感しました。自分の足りないところを見つめ直したり、自分自身の意識を高める貴重な時間になりました。

また、世界や国内で活躍されていた、されている方々の講義を聞いたことで自分の視野が広がりました。今まで知らなかった職業や、活動を知ることが出来たり、講師の方々の生き方を聞き、人生における価値観が少し変わったりするなど、多くのことを学びました。

こういった多くのことを学べる機会はそのほど多くあるわけではない中でこのリー塾に参加出来たことが本当に嬉しいです。ありがとうございました！

2 印象に残った講義とその理由

私は麻生渡さんの「君は人生100才時代をどう生きるのか」という講義が印象に残りました。

講義の中で「50代の時にもう一度学び直して2度目の人生を生きる」というようなことを仰られていて、そういった考えが私の中にはなくとても驚きました。確かに、私たちの世代は100歳まで生きると言われていて、20代で学ぶことをやめてしまったら残りの80年近く学ぶことなく終わってしまうことに気付かされました。また、「時間は若い時には無限にあるように思うがそうではない」という言葉を聞いて、時間が限りなくあるものと無意識に考えていて、今を大切に出来ていない時があるのではと思わされました。そして、そこから、今自分がすべきこと、したいこと、それらに全力を尽くそうと考えが変わりました。

3 今後のわたし

まず、日頃の勉強にもっと励んでいきたいと思っています。リー塾の期間中に「ここ学校で教えてもらったけどなんだったっけ。」となってしまうことが何回かありました。その時に、もっと勉強をしておけば、と強く思いました。なので、以前よりも勉強していきたいと思えます。

次に、学校で学ぶことだけでは不十分だと痛感したので、本を読んだり、自分の興味のあることを調べたり、留学したり、もっと外に出る、知る、そういうことをしていきます。

他にも、人脈を大切にしていきたいと思えます。今回のリー塾で出来た仲間と関係をしっかりと保っていくこと、これからもリー塾のような活動や、留学をしたりして人脈を広げていくことをしていきたいと思っています。

将来の夢を叶えるために努力を惜しまず、積極的に自分から行動していきます。

1 リーダー養成塾を受講して

一生の友と出会うことが出来た。二日目の交流時には他県の様々な人と話すことが出来たが、全員が自分の夢に自信を持って堂々と語る姿に驚きとたくましさを覚えた。私は夢など自分自身に自信が無く、恥ずかしかった部分があった。だから、2週間を共に過ごす仲間を見て自分自身がとても小さな存在であることを痛感した。そして、私自身もいつかこんな仲間のように自信を持って夢を語れる人間になりたいと思った。別れ際には、涙が止まらなかった。本当に2週間という期間は短かったと思うと同時に、まだこの仲間たちと一緒にいたいという気持ちが大きかった。

また、アジアハイスクールサミットやディスカッションを通して集団の中で個々の意見などがどれほど重要視されるのかを知れた。以前は、所詮大人数の団体の中で全員の意見が反映される訳ではないから、一人ぐらい議論に参加できなくても支障は出ないと考えていた。しかしそれは大きな間違いであり、集団の中でこそ個々が議論に受動的ではなく、能動的に参加しているかが重要視されていることが分かった。だから、私自身人前で話すことは苦手だったが、多くの仲間に支えられ発言することが出来、自信を持てた。

このような素晴らしい機会を設けて頂いた中西塾長はじめとする、スタッフの方々、本当にありがとうございました。この二週間は私にとってかけがえのないものとなりました。

2 印象に残った講義とその理由

鎌田實先生のご講義

今までの自分自身の固定概念がとても小さなものであることに気付いた。世の中にはまだ国内での紛争が続き難民として生活する子供たちがたくさんおり、その子たちは余命わずかな命をどう生きるか真剣に向き合っているというお話があった。だから、私たちはとても恵まれた存在であることを痛感した。可哀想だと同情するのではなく、その子たちのために1%の力を私たちは注いでいかななくてはならないのだと感じた。他者のために何かをしたいと思い、ほんの少しの努力が秘めた力の大きさが未来を変えることにつながると分かった。また、先生は危機が伴う地へなぜいくのかという質問に対し、いつか人は死ぬから安全な場所に閉じこもるのではなく、自分を必要としている人のところへ行くべきだとおっしゃった。死と向き合うことが出来る先生だからこのような発言を出来るのだと思い、死を恐れぬ先生の眼差しに感銘を受けた。私はまだ私を必要としている人は少ないと感じているが、将来は私を本当に必要として下さっている人々のところへ行くことが出来るようになりたいと思った。また、私自身の存在価値はとても大きなものであることを感じた。

3 今後のわたし

夢を諦めないと思うことが出来た。私の夢は医者になることだ。その夢は今も変わらないが、具体的に国境なき医師団になりたいと今回の研修を通して思った。そのためにはまず、医療に関する知識はもちろん、言語やコミュニケーション能力をつけたい。また、全て英語でのご講義があったが、9割は理解できなかった。とても悔しかった。もっと英語を含めた言語を勉強したいと思った。だから、留学をしたいと思う。

高校生のうちに出来ることを全力でやりたい。私の人生は人類の誕生という長い歴史の中で一瞬である。だからこそ、自分がやりたい事、自分にしかできないことを探して楽しい人生にしたい。また、私の人生は私だけのものではない。様々な人の支えの中で出来ているものだ。だから、私を支えて下さっている人々に感謝し、その人々の心に寄り添える人になりたい。また、集団の中で私一人が出来ることは限られている。だからこそ、仲間の存在に感謝し仲間のために出来る私の最大限のことをしたい。人はちっぽけな存在だが、全世界の中での私の存在価値はある。その価値を今生きる人々のために活用したい。

また、必要とされるリーダーになるためには努力、継続はつきものだと分かった。将来リーダーとなり多くの人の前に立つためには、情熱を持ち人の心を動かせる人にならなければならないと感じた。そのためにも、自信の意見を持ち相手のことを思いやり耳を傾けられるそんな人になりたい。また、普段からこれらのことを心掛けたい。